

教育目標
創造 誠実 健康



高3中だより

みどりの学びのエリア

めざす子ども像

(三園小・高三小・高五小・高三中)

令和5年12月25日 第16号 校長 飯塚 正人

- 自ら学ぶ子ども
- 心身ともに健康で思いやりのある子ども
- 規範意識を身につけ自立した子ども



1月・2月 主な行事予定	
9	火 始業式
10	水 8年宿泊前検診 餅・フクロウ贈呈
12	金 都立推薦出願 ~16火
14	日 8年スキー教室 ~16火
15	月 私立推薦出願始
17	水 8年振替休業日
19	金 教育委員会訪問(4)⑤
20	土 土曜授業 学活公開
22	月 生徒朝礼 私立推薦入試始
23	火 生徒会交流発表会
26	金 都立推薦入試(一部27土)
31	水 都立一般郵送出願 ~2/6火
2/2	金 都立推薦発表・手続
6	火 区中研発表会⑤⑥カット 8年職場体験 ~8木
9	金 6組進台学芸展覧会
10	土 都内私立一般入試始
19	月 土曜授業 入学説明会 CS委員会
21	水 生徒朝礼
26	火 都立一般入試
27	火 学年末考査(国・社・体) 6組校外学習 学年末考査(数・理・英・技家)

「3学期は4月へのテークオーバーゾーン！」

校長 飯塚 正人

始業式の9月1日から早いもので約4ヶ月が過ぎ、本日終業式を迎えることとなりました。今学期の登校日数は81日でしたが、いかがでしたか。一番印象に残っているのは、どんな授業でしたか。また最も力がついた教科は何でしたか。2学期、何か頑張れたことはありましたか。成長を実感できることはありましたか。



季節が夏から冬へと大きく移り変わる中で、本校の二大行事である「運動会」や「創造祭」は大いに盛り上がり、多くの生徒の思い出になったことと思います。また6組の連合球技大会や運動部の各大会、文化部をはじめ文化的な活動でも、本校生徒の活躍する姿に成長と頼もしさを感じ、多くの感動をもらいました。まさに文武両道とはこのことであると感じています。こうした充実した教育活動が進められていることは、保護者の皆様はもとより、PTA役員や地域の皆様の温かいご支援があったからこそと、教職員一同、感謝いたしております。

冬休みは新しい年を迎えるという意義ある節目の休みです。節目や区切りというのは、自分を振り返り、この先どのようにしていくべきか自分自身を見つめ直すことができます。3学期は登校日数が55日(9年生は51日)しかありません。4月からの進学や進級等につなげていくために、3学期の過ごし方がとても重要です。そのためにも節目・区切りである冬休みを大切にしてほしいと考えます。

年が明ければ、9年生にとっては義務教育最後の学期を迎えます。今は目の前にある壁を乗り越えるために、厳しく不安な時期を過ごしていると思いますが、どうか自分の努力してきたことを信じて必ず乗り越えていってください。受験生の皆さんを応援している人はたくさんいます。

最後に、今学期の本校の教育活動に対する保護者・地域の皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。どうぞ健康に留意されてよい年をお迎えください。そして来年もよろしく願いいたします。

2学期のまとめ 8年 長谷川さん

長かった2学期が終わり、冬休みがやってきます。

今年も、コロナの影響を受けずに、二大行事の「運動会」、「創造祭」を開催することができました。それにより、クラスでの団結力が増し、個人でも主体的に行動する力や何にでもチャレンジする積極性などが身についたと思います。



7年生は、初めての大きな学校行事になった創造祭で、学級閉鎖のクラスがありながらも、全員が協力して工夫することができ、新たな形で発表を迎えることができました。また、高島特別支援学校との交流会では、様々な人とふれあうことで気づいたことがたくさんあったと思います。3ヶ月後には、新しい後輩がやってきます。先輩として模範となれるよう頑張っていきましょう。

8年生は、9年生から委員会や部活動を託されました。自分が学校の中心となったことを自覚して、積極的にみんなをまとめたり、自主的に行動してきたと思います。3学期はスキー教室や職場体験があります。今まで培ってきた自分の能力を発揮し、よりよい体験にしていきましょう。また9年0学期とも言われる3学期です。全員が見通しをもって学習に取り組みましょう。

9年生はいよいよ受験本番が始まります。今まで努力し学習してきたことが発揮できるよう全力を尽くして頑張ってください。残りの中学校生活も充実したものにして、よい卒業式を迎えられるようにしましょう。

冬休みを安全に楽しく過ごし、元気に3学期が迎えられるようにしましょう。

10月4日(水)実施「みどりの学びのエリア：三園小・高三小・高五小・高三中」 高島平グリーンショップ「秋の収穫物販売会」の記事が新聞掲載

2023年(令和5年)10月8日(日曜日) 山

高島平団地

板橋区の高島第三中、高島第三小、高島第五小、三園小の生徒・児童が育てた農作物や加工品を販売する取り組み「高島平グリーンショップ」が4日、高島平団地内(高島平3)で開かれた。

この日、高島平団地前に設置したテントでは、児童らが「いらっしゃいませ」「おいしいですよ」などと元気よく声を上げた。ジャガイモやナスなどの野菜、花の苗、ヘチマのたわしなどの加工品を販売すると、住民らが次々に買い求めていた。

各校で栽培、収穫した農産物を地域の人に味わってもらい交流を図ろうと高島第三中が呼びかけたのを機に、一昨年から同中と高島第三小が

小中学生が育てた野菜販売

高島第三小の森垣真由美校長は「地域との関わりは児童にとって貴重な体験」。同小6年の橋本藍衣さんは「販売が楽しかった。おいしく食べてもらいたい」と話した。

(長竹祐子)



自らの収穫した野菜や加工品を販売する児童ら。板橋区の高島平団地内で。



児童・生徒たちが積極的に声を掛けてお店を盛り上げた

「グリーンショップ」が開かれた。これは高島第三小・高島第五小・三園小・高島第三中と、地域の町会や地域センター職員も参加している「板橋区コミュニティスクール」が開いたもので、小・中学校生が各学校内で栽培・収穫した野菜や加工した作品等を、各校が協力し合いながら地域の人に直接販売するもの。売り上げは次の種や苗などを購入する費用となる。

商品はバジル、唐辛子、香りのサシエ、ラベンダー、シユーズキーパー、ニンニク、大葉、ジャガイモ、秋ナス、ヘチマたわし、ローリエなど。会場は店舗の準備中から地域住民が詰めかける状態で、販売会にはぎわいを見せていた。

「小学生も見やすく工夫し、通りかかると「じつぞう」いかがですか？お安くなくていいですよー」など、生徒・児童が主体的に声をかけた成果もあり、用意した商品は多くが完売していた。

今回は収穫の時期が難しくあったので、次回はその時期を考慮して準備をしたいとしている。

↑ 10月15日「高島平新聞」に掲載

← 10月8日「東京新聞」に掲載

生徒の活躍

OITABASHI 高島平ボランティアワークショップ夏の事業参加

- ・高島平児童館「CA' PS 高島平祭り」7/27・28 7年地藏堂、馬場、8年及川
- ・はすのみ児童館「なつまつり」8/3 7年元吉
- ・新河岸児童館「新河岸フェスタ」8/23・24 9年澤田、藤田
- ・高島第一小学校あいキッズ「なつまつり」8/25 8年小日向、宮原、出町

○第76回東京都中学校支部対抗陸上競技選手権大会

- ・男子共通200m 第2位 菊池 23秒45 第3位 水口 23秒91
- ・男子1・2年走幅跳 第8位 高島 5m94
- ・男子共通4×100m 第6位 黒田、菊池(他校2名)

○税についての作文《板橋税務所長賞》9年 堀井「祖父の手のぬくもり」
《入選》9年 前田

○バドミントン新人大会

- ・女子団体 優勝
- ・男子団体 優勝
- ・男子シングルス 優勝 8年鮎澤
- ・女子ダブルス 第2位 8年山崎・内山
- ・女子ダブルス 第3位 8年若海・中村



○薬物乱用防止ポスター・標語

標語部門 「準佳作」7年工藤
「考えろ 薬物誘うの 友達か？」

○読書感想文コンクール「佳作」8年土井 7年中村

○板橋区青少年表彰「グリーンショップ」みどりの学びのエリア

児童・生徒による収穫物の販売や3駅作品展示(令和6年2月予定)で地域の活性化に貢献したことによる受賞(高三中は6組生徒と自然家庭科部の生徒の一部が販売に参加しました)

